

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 南伊豆町社会福祉協議会

令和4年度社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会事業実績報告書

(1) 事業概要

急速に進む高齢化社会への対応として、高齢者の保健福祉・介護予防の推進、ボランティア活動の推進、社会福祉に対する人材確保、障害者の自立促進など、あらゆる面で事業の構築がなされている。これらのことを考え合わせると社協として取り組むべき事業は住民や当事者の協力が得られ、ニーズに合ったもので、協働性や専門性のあるものが挙げられる。事業推進のためには、各種の公的福祉サービスを積極的に受託し、それらを民間の立場から柔軟に運営しつつ、公的サービスでは対応できない多様なニーズにも対応できる事業を開発し、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、素早く確実に問題解決につなげる必要がある。

令和4年度は、町補助事業として「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う高齢者生活支援給付事業」を実施し、70歳以上の方を対象に5000円の生活支援金を給付した。また、令和2年3月から始まった新型コロナ特例貸付が令和4年9月に終了し、償還の始まる借受世帯の相談支援に対応した。

(2) 事業内容

1 理事会

- 第1回 健康福祉センター(6月2日)
- ・令和3年度事業報告・決算について
 - ・令和3年度善意銀行決算について
 - ・経理規程の一部改正について
 - ・評議員候補者の選任について
 - ・役員候補者について
 - ・評議員会の招集について

- 第2回 健康福祉センター(1月19日)
- ・上半期収支状況について
 - ・令和4年度補正予算について
 - ・評議員候補者の選任について
 - ・評議員会の招集について

- 第3回 健康福祉センター(3月16日)
- ・令和4年度補正予算について
 - ・令和5年度事業計画・予算について
 - ・令和5年度善意銀行予算について
 - ・評議員会の招集について

2 評議員会

- 第1回 健康福祉センター(6月25日)
- ・令和3年度事業報告・決算について
 - ・役員の選任について

- 第2回 健康福祉センター(1月27日)
- ・上半期収支状況について
 - ・令和4年度補正予算について

第3回 健康福祉センター（3月29日）
・令和4年度事業計画・予算について

3 監事の監査

- ・決算監査 令和4年5月24日（火）健康福祉センター
- ・中間監査 令和4年12月14日（水）健康福祉センター

4 評議員選任解任委員会

- ・令和4年6月14日（火）健康福祉センター 評議員2名選任
- ・令和5年1月24日（火）健康福祉センター 評議員5名選任

5 居宅介護支援事業

介護支援専門員を配置し、高齢者の訪問調査、要介護認定等に係る代行申請、サービス計画の作成を行った。

- ケアプランの作成 延414件（令和3年度411件）

6 居宅介護事業

訪問介護・予防訪問介護は常勤ヘルパーと登録ヘルパーで在宅介護の援助を行い、障害者に対する居宅介護サービスも実施した。

- 訪問介護 延 185人 1802回（前年255人 2201回）
- 総合事業 延 31人 176回（前年38人 218回）
- 障害者居宅 延 65人 199回（前年67人 366回）

7 心配事相談所の開設

- (1) 開催期日 毎月15日 午前9時から午後3時
- (2) 開催場所 南伊豆町健康福祉センター
- (3) 相談員 福原ふくよ 大島明利 平山さち子
- (4) 身障相談員 竹河十九巳

8 老人給食サービス事業

各地区の公会堂、いこいの家等を利用して17地区で実施。

開催月日	地 区	参加人数	開催月日	地 区	参加人数
6月8日	西子浦・手石・蛇石	50	12月16日	下賀茂・大瀬	52
10月5日	石 井	20	1月18日	二 条	30
10月11日	加 納	24	1月20日	市之瀬・上賀茂	39
11月10日	吉祥・青市	26	2月3日	仲 木	27
11月25日	下小野	18	2月10日	下 流	85
12月8日	湊・毛倉野	55	合 計		425

協力者 JA 富士伊豆ボランティアグループ「ゆけむりの会」

9 ボランティア育成事業

(1) ボランティア活動保険への加入 255 名（災害ボランティア保険 36 名）

(2) 災害ボランティア

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会と協力し事業を実施。毎月 1 回定例会を開催。

7 月 8 日 県防災センター視察研修

8 月 18 日～ 松崎町災害ボランティア本部支援

8 月 29 日 松崎町台風災害募金活動

11 月 19 日～20 日 災害 VC 養成講座（受講者 8 名）

10 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会より貸付事務の一部を受託し、低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対する生活福祉資金貸付事業を実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で生活に困窮する世帯を対象に緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付を実施した。

（3 月末時点貸付件数）

生活福祉資金貸付件数 2 世帯 3 件 122 万円

緊急小口資金特例貸付 62 件 1,080 万円

総合支援資金特例貸付(延長・再貸付含む) 49 件 2,521 万円

11 日常生活自立支援事業

生活支援員を配置し、認知症高齢者、障害者の権利擁護のための日常的金銭管理、福祉サービス利用援助事業を実施した。

令和 4 年度利用者数 1 名 支援回数延べ 12 回

12 募金活動

(1) 赤い羽根共同募金

募金実績	戸別募金（34 区）	1,108,900 円
	職域募金	9,929 円
	街頭・その他	7,479 円
	合 計	1,126,308 円

(2) 歳末助け合い募金

募金実績	戸別募金（34 区）	1,133,300 円
	個人募金・その他	15,000 円
	合 計	1,148,300 円

* 歳末助け合い運動配分内訳

使 途	対象人員	配分額
低所得世帯	13 世帯	213,000 円
寝たきり高齢者	13 人	65,000 円
重度障害者	47 人	141,000 円
施設入所者	109 人	327,000 円
合 計		746,000 円

1 3 生活困窮者自立相談支援事業

県内 12 町社協、県社協、NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡とふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムを結成し、引きこもりや低所得者の生活、就労に関する相談支援事業を実施した。

令和 4 度新規相談受付件数 1 3 件

1 4 生活困窮世帯学習支援事業

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、生活困窮世帯の子どもの学習能力、学習意欲の向上を促進することにより、生活困窮世帯の子どもの自立促進を図った。

夏季 7 日間 延 4 5 人参加 冬季 3 日間 延 2 4 人参加
平日 3 4 日間 延 2 4 2 人参加

1 5 居場所「にじいろ」の運営

子供からお年寄りまで自由に集える場として、下賀茂の空き店舗を利用し実施。

開催日 毎月第 1・第 3 水曜日
時 間 午後 2 時から午後 4 時
開催回数 1 6 回 延 6 8 人参加

1 6 不登校児童・生徒学習支援事業

不登校の児童、生徒が社会との関わりを持ち、引きこもり防止、学習意欲の向上を目的に実施。

開催回数 1 0 回 延 1 0 人参加

1 7 成年後見事業

賀茂地区 1 市 5 町社会福祉協議会で成年後見業務協定を締結し、市民後見人養成講座を開催し、令和 4 年度は 2 名が修了した。法人後見への取り組みも推進し、後見類型 2 件、保佐類型 1 件を受任し後見業務を行った。

また、成年後見制度に関する広報、啓発活動や、制度に関する相談への対応を行った。

市民後見人養成講座 9 月 1 0 日～2 月 2 5 日(全 10 回 45 時間)
2 名が修了(累計 1 2 名)

1 8 生活支援・外出支援事業

日常生活で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実強化を図った。

また、移動手段に難のある高齢者に対し、ボランティアの個人車両、なのはな号の空き時間、社会福祉法人の車両の空き時間を活用した移動支援を行った。

外出支援実績

(1) 個人ボランティアによる支援

年間活動日数 1 7 1 日 利用延べ人数 3 6 4 人 (実人数 2 5 人)

目的 買い物(1 9 3 回) 通院(9 9 回) 健康教室参加(5 0 回)

金融機関(3 4 回) その他(1 4 回)

(2) なのはな号による支援

年間活動日数 4 9 日 利用延べ人数 1 9 5 人(実人数 1 0 人)

(3) エクレシア号による支援

年間活動日数 7 日 利用延べ人数 3 3 人 (実人数 7 人)

1 9 高齢者生活支援金給付事業

新型コロナウイルスの拡大により、日常生活に大きな負担を強いられている高齢者の負担軽減を図るため、70 歳以上の高齢者に 5,000 円の支援金を給付し高齢者の生活負担軽減を図った。

70 歳以上高齢者数 3, 1 4 3 名 (R4.9.1 時点)

給付件数 3, 1 2 9 件 (所在不明 14 件)